

# もの知り こどもタイムズ

目オビニオン 目できごと 目まなび 目こどもつと! 目おたのしみ 目こどもつと!

こどもタイムズ編集部 FAX 092(711)5564 kodopon@nishi-nippon-np.jp facebook.com/shiritai



南極・昭和基地の発電機 =1月(共同)

**ペンギン・ロボットの南極ナマケモノニュース**

いきなりですが、クイズく、南極もさかなくなっています。アペリーペンギンの脚で歩いて、命にかかわる危険な作業も、南極には、電気を送って、正解は、電気が止まるまでです。昭和基地の電気のほとんどが動かなくなるだけではない、南極基地の電気のほとんど

## 基地最大の敵は停電

電機燃料は年に1回、燃料船で運ばれます。南極では自分たちでつくる必要はないけれど、南極基地では、基地の電気のほとんどが動かなくなるだけではない、南極基地の電気のほとんど



風の力で発電する南極基地(共同)

### 取材

福岡市・西新小5年  
いなかの 稲川ひまり特派員

**取材** 私がテパッタさんのショーを初めて見たのは、幼稚園のころ。今回取材してテパッタさんの思いを知り、優しい先生みたいなマジシャンだと思った。心がほかほかテパッタさん!

福岡県新宮町・立花小5年  
いなかの 永井 長翔特派員

**取材** テパッタさんがピエロみたいに見えるので、とても楽しいショーだった。僕たち子どもを笑顔にしようという気持ちで仕事をされているので、テパッタさんの優しさが伝わってきた。

福岡市・経路中1年  
いなかの 花田 麻央特派員

**取材** 子どもたちを笑顔にして、世の中を平和にしたいというテパッタさんの強い思いは、ショーを見た子どもたちにきっと伝わっているはずだ。私も日ごろから笑顔心がけたいと思った。

福岡市・香取小5年  
いなかの 浜野 祥吉特派員

**取材** テパッタさんのショーを見たのは、この日で2回目。今回もとても楽しかった。みんなの笑顔のためにマジックをしているという言葉が心に残った。マジックの力をあらためて感じた。

福岡市・香椎下原小6年  
いなかの 陽太特派員

**取材** マジックは僕の趣味。テパッタさんのショーでは知らない技があり、自分もやってみようと思った。取材でマジックについてさらに詳しくなり、今まで以上に好きになった。

テパッタさんにはマジックの、お手伝いをするワザが3つあって、もちろん自分の家で練習してお世話をしているそう。小さい動物と生活すると、心が優しくなるね」と笑った。



ボールを使うマジックもあった



テパッタさんが初めて覚えたというハンカチのマジックを見せてもらった

この日、テパッタさんは福岡市内の児童館で、子どもたちに向けてマジックのショーが始まった。子どもたちも目をキラキラと輝かせて、黄色い衣装を着たテパッタさんのマジックを見て、笑顔で拍手を送っていた。



ショーの後、テパッタさんに話を聞いた

## マジシャンの素顔にせまる

## 子どもを笑顔に、幸せに

この日、テパッタさんは福岡市内の児童館で、子どもたちに向けてマジックのショーが始まった。子どもたちも目をキラキラと輝かせて、黄色い衣装を着たテパッタさんのマジックを見て、笑顔で拍手を送っていた。

名前由来は「てきごないで」  
トラップや炎、動物などをたくみに操り、見る人をおどろかせ、驚かせるマジックショー。福岡県内を中心に活動し、子ども向けのショーで人気を集めているのがマジシャンのテパッタさん(49)福岡県古賀市。人々の笑顔にせまろうと、会に行くと。



本物のワザを披露させるマジックを披露するテパッタさん

け、年間160〜180回のショーに出向いている。テパッタさんがマジシャンになるきっかけは、2人の子供が生まれてから。仕事で忙しい中、子どもを笑顔にしたいという思いで、マジックを学んだ。最初は、マジックの先生のもとで練習を始めた。一人前にマジックを披露できるようになった。マジックの先生のもとで練習を始めた。一人前にマジックを披露できるようになった。

## 基本のトリック組み合わせ、自分流に

マジックにも基本がある。テパッタさんの基本は、マジックのトリックを組み合わせ、自分流にアレンジすること。テパッタさんが初めて覚えたマジックは、手の中でハンカチを消す技だ。取材した私たちの中で特にマジック好きの福岡特派員はそのトリックを知っていたが、上玉に見えるやり方を教えてもらった。森特派員は「これからは練習を重ねて上玉になれるようにしたい」と思った。

テパッタさんにはマジックの、お手伝いをするワザが3つあって、もちろん自分の家で練習してお世話をしているそう。小さい動物と生活すると、心が優しくなるね」と笑った。